

セメント系下地調整厚塗材 2 種 (ポリマーセメント系)

ポリマー *in* DX-20

(全ての仕上塗材・タイル下地調整用)



JIS A 6916

認証番号

秩父工場 : TC0308046

[ポリマー in DX-20]

日本建築仕上材工業会	
登録番号	2302025
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

〔目 的〕

この施工マニュアルは、「ポリマー in DX-20」をコンクリート下地に厚さ（JIS 規定塗り厚 3～10 mm、施工可能塗り厚 0.5～5 mm）で塗り付け、全ての仕上塗材・セラミックタイルの下地となるように仕上げる内外装工事に適用する。

〔用 途〕

コンクリート・モルタル等下地補修

適用下地：コンクリート、モルタル、PC 板、ALC 板

〔規格・法令〕

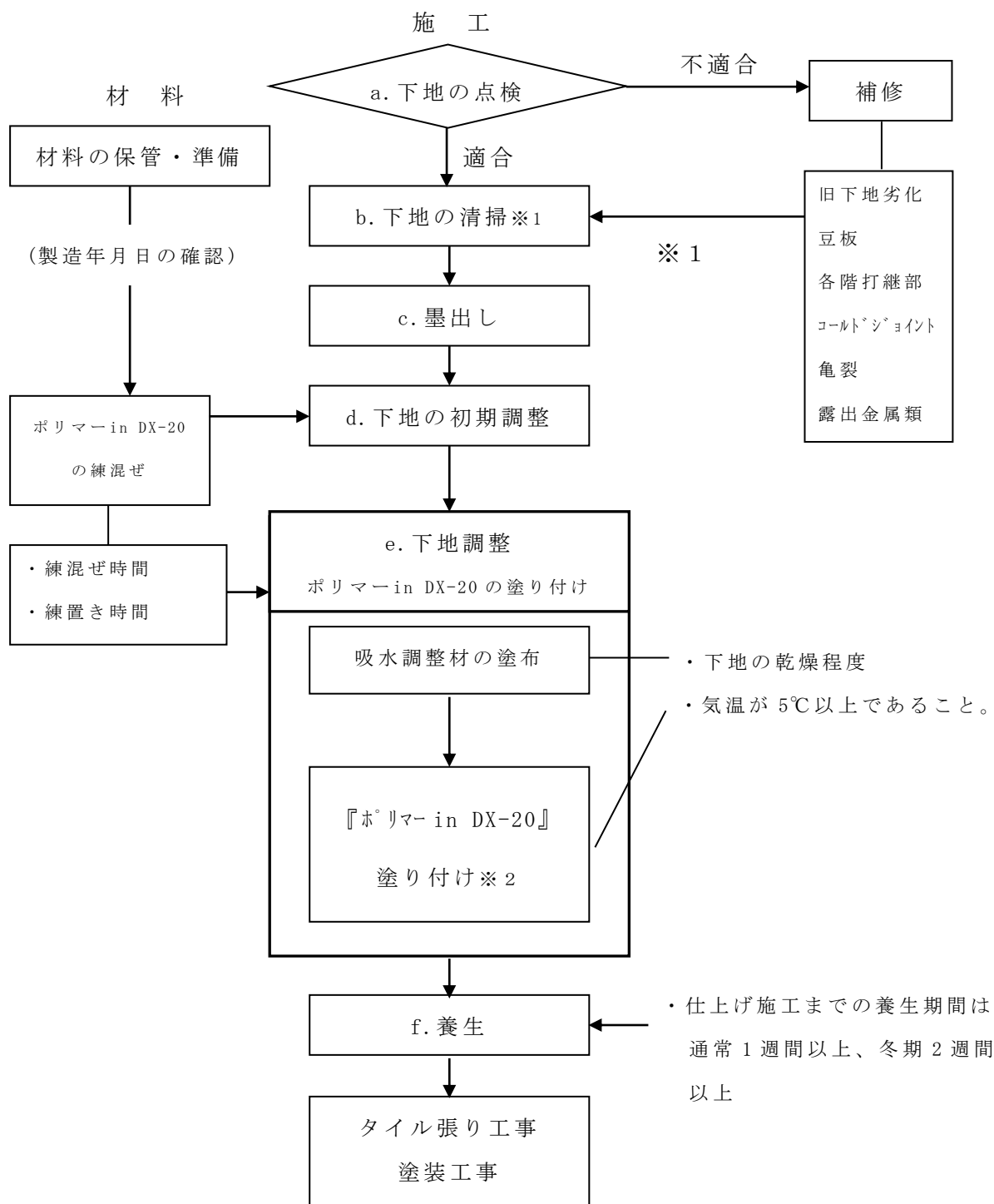
「ポリマー in DX-20」は、JIS A 6916(建築用下地調整塗材)における CM-2 規格の JIS 表示認証製品です。

〔調 合〕

ポリマー in DX-20	25kg/袋
上水道水	約7.5ℓ

練上がり量	:	約 20 ℓ
標準塗り厚	:	JIS 規定塗り厚 3～10 mm 施工可能塗り厚 0.5～5 mm
標準施工面積	:	約 6.7 m ² (3 mm 厚 / 1 袋)

〔施工工程〕



※1 塗装合板型枠下地は高圧洗浄を推奨します。

※2 ALC への施工については「ALC 下地の施工方法」をご参照下さい。

タイル下地の拵えは、「ポリマー in DX-20」を塗り付ける前に、段差、目違い補修されたモルタル面のひび割れ・浮きなどを点検し、適切な処置を講じて下さい。塗付けはコテ圧をかけて下地にすり込む用に行い、少し締まらせてから所定の厚さに塗付けて下さい。塗付け後、平坦な塗り面に仕上げて下さい。

〔施工方法〕

① 下地処理

- 1) モルタルの接着を強固にするため、下地コンクリート面のレイタンス・脆弱層・離型剤・ジャンカ・汚れ等をワイヤーブラシ・サンダー掛けなどで除去し、水洗い清掃または高圧洗浄により、強靱な素地を出して下さい。
- 2) 下地清掃後、「シーラーN #45」 3倍希釈液を刷毛等でムラなく塗布して下さい。
- 3) ジャンカ、豆板、コールドジョイント、不陸部は予め、「シーラーN#45」の5倍希釈液で練り混ぜた、「ポリマーinDX-150」、「ロイヤルミックス#300」で塗り付け補修をして下さい。

② 練混ぜ

- 1) ポリマーinDX-20(25 kg)に対し上水道水約 7.5 ℓ を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練混ぜて下さい。
※練混ぜの際は、あらかじめ水を入れてから粉体を徐々に加えて下さい。

③ 塗り付け作業

- 1) あらかじめ下地処理した施工面に、コテ圧をかけて下地にすり込むように塗り付けを行い、少し締まらせてから所定の厚さに塗り付けて下さい。
※塗り厚が薄い場合でも「しごき塗り」はモルタルのエアによる膨らみや浮き防止、ダレの抑制になり付着強度確保の為に必ず励行して下さい。
- 2) 水引具合を見計らい、平滑にして下さい。
※乾燥が著しい場合は、夏期施工翌日、冬期 2 日以後に散水養生を行って下さい。

④ 養生

- 1) 気温が 5°C 以下で施工する場合は、適切な保温対策を行って下さい。夜間の気温低下による凍害の恐れがある場合は十分な養生を行って下さい。
- 2) 通風・直射日光を避ける為、シート掛け養生を行い乾燥防止の対策を行って下さい。
- 3) 降雨・降雪・強風の場合は、白華防止のためシート養生を行って下さい。
※白華が発生した場合は、デッキブラシやワイヤーブラシ等できるだけ白華を除去して下さい。清潔な乾布で、残留する粉が手に付着しなくなるまで清掃して下さい。(水洗いは白華を再発する場合があります。)
- 4) 仕上塗材を施工するまでの養生期間は、通常 1 週間以上、冬期 2 週間以上行って下さい。

[A L C 下 地 の 施 工 方 法]

① 下地処理

- ・ポリマーinD X - 2 0 の塗布前に A L C パネルの取付け状態の確認を行ってください。（A L C パネルの取り付け具合、水平、垂直、出入りなどの良否の確認）塗り付けに支障がある場合は、施工監理者と協議のうえ適切な処置を講じてください。建付けが 5 m m 以上ずれている場合は、本材料では下地補修ができません。
- ・ A L C パネル表面のほこり、粉末などを刷毛またはスプレーガン等で入念に清掃し、除去して下さい。

② 吸水調整材の塗布

- ・ A L C パネルの吸水調整の為、下地清掃後にシーラー# 4 5 の 5 倍希釈液（シーラー# 4 5 : 1 + 清水 : 4）を刷毛やローラーなどで塗り残しのないように均一に 2 回塗布して下さい。（1 回目の塗布量目安 2 5 0 g / m²）
1 回目の吸水調整材が乾燥後、2 回目の吸水調整材（5 倍希釈液）を塗布して下さい。（2 回目の塗布量目安 2 0 0 g / m²）
- ・ A L C パネル表面が著しく乾燥している場合以外でも、2 回目の吸水調整材塗布を行って下さい。

③ 練混ぜ

「施工方法」の②練混ぜを参照下さい。

④ 塗り付け

- ・最初にコテ圧をかけながら、下地にすり込むようにしごき塗りを行い、ワントーンポ遅らせてから（少し締まらせてから）所定の厚さに塗り付けて下さい。その際、A L C パネル面が完全に隠れるようにして下さい。
※しごき塗りはモルタルのエア膨らみや浮き防止、ダレ抑制にもなりますので必ず励行して下さい。
- ・塗り付け後、水引具合を見計らって押さえ仕上げをして下さい。
塗り付けが薄いと吸水率が高くなり、後工程に支障をきたす可能性があります。

⑤ 養生

「施工方法」の④養生を参照下さい。

※日光や通風等による急激な乾燥によってもドライアウトは起こり得るので、施工時及び施工後にはシート掛け等の適切な養生を行って下さい。適宜硬化状態を確認し、硬化不良が認められた場合は散水養生による強度回復を実施し、回復が認められない場合は下地処理材を除去し、再度下地調整を行って下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策(概要)」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
2. 練混ぜた材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練足しや加水しての練戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5 (鉄筋コンクリート工事)の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候(降雨、降雪等)、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策(概要)

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具(保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等)を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいをし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水をよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め、空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



本 社 〒546-0003
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
URL:<http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004